

平成 17 年 3 月の解説（週間天気予報）

【3月の天候状況】

低気圧が日本付近を頻繁に通過し、天気为数日周期で変わりました。低気圧の通過前には気温が上がり、通過後には一時的に冬型の気圧配置となって気温が下がるため寒暖の差が大きくなりました。北・東日本の日本海側では、低気圧や前線の影響で曇りや雨または雪の降る日が多く、月降水量が平年の 150%を超えたところもありました。西日本や南西諸島では月平均気温が平年に比べて 1～2℃下回りほぼ 10 年ぶりに低温となりました。

【3月の検証結果】

「降水の有無」の適中率（3～7 日目の平均）は全国平均では例年（注）より 7 ポイント高い 73%でした。ほぼ全国的に例年より高く、特に関東甲信、中国及び沖縄地方では 10～14 ポイント高くなりました。最高気温の予報誤差は、ほぼ全国的に例年より小さく（全国平均（2～7 日目の平均）で例年より 0.3℃小さい 2.5℃）、特に近畿地方及び四国地方では例年より 0.5～0.6℃小さくなりました。最低気温の予報誤差は、ほぼ全国的に例年並（全国平均で例年より 0.1℃小さい 2.3℃）でしたが、九州南部地方は例年より 0.5℃小さくなりました。

（注）例年値は気象庁HP（評価）内「月毎の精度の例年値」を参照してください。

【3月の週間天気予報から】

2005 年 3 月 22 日から 24 日にかけて、日本付近を低気圧が通り、東日本や西日本を中心に広い範囲で雨が降りました。週間天気予報（下表）では、3 月 16 日発表の予報から 22 日と 23 日の雨を的確に予想していました。しかし、24 日については太平洋側の地方では、晴れや曇りの天気を予報しました。24 日の雨は 23 日までの雨がさらに継続して降り続いたものではなく、一旦回復した後に午後になって再び降ったもので、午前中は東日本を中心に晴れているところもありました。

図 1 は 17 日に発表した 24 日の予想天気図です。この時点では低気圧の通過後、日本付近は冬型の気圧配置になると予想し、太平洋側の地方は

予報対象日	予報発表日										実際の天気		
	15 日	16 日	17 日	18 日	19 日	20 日	21 日	22 日	23 日	24 日	昼	夜	
	22 日	23 日	24 日	25 日	26 日	27 日	28 日	29 日	30 日	31 日	22 日	23 日	24 日
予報対象日	22 日	23 日	24 日	25 日	26 日	27 日	28 日	29 日	30 日	31 日	22 日	23 日	24 日

3 月 22 日～24 日の天気予報と実際の天気（宇都宮の例）
（表の見方：左上端の曇マークは 15 日に発表した、22 日の天気予報が曇だったことを示しています。）

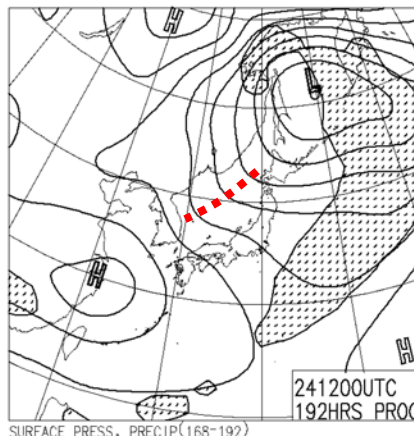


図 1 3 月 17 日に発表した、
3 月 24 日の予想天気図

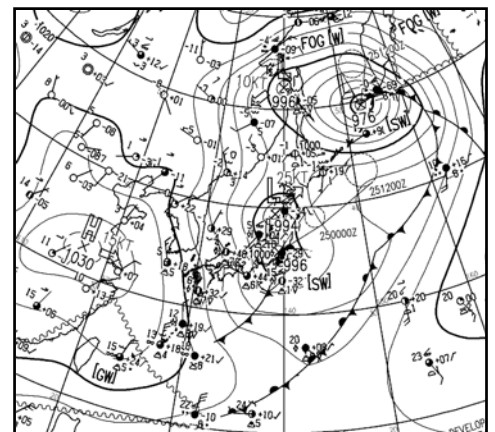


図 2 3 月 24 日の天気図（実況）

晴れや曇りの天気を予報しました。しかし、実際は実況天気図（図2）が示すように、17日の段階で予想していた気圧の谷（図1中の太い点線部分で、周囲より気圧が低くなっている。）が低気圧になり、さらに本州の南岸に前線を伴った低気圧が発生したため、雨が降りました。20日（4日前）の予報では日本海に低気圧が発生して南下することが予想されたので、天気を晴れから曇りに予報を修正しましたが、本州の南岸に低気圧が発生することまでは予想できませんでした。この例のように、小さな低気圧が隣接して2つ発生するなど、規模が小さく複雑な現象は何日も前に正確に予想することが困難な場合があります、天気が大きく外れることがあります。

【5月の天候の特徴と週間天気予報の利用に際して】

5月は本土の大部分では移動性高気圧に覆われて晴れる日が多いことが特徴ですが、日本の南海上に前線が停滞するようになり、南西諸島は本土より一足早く梅雨に入ります。平年の入梅は沖縄地方では5月8日頃、奄美地方では5月10日頃です。この前線がときどき北上して一時的に停滞すると、本州などでも数日の間、雨や曇の日が続くことがあります、場合によっては大雨となることもありますので注意が必要です。

2001年5月の三重県尾鷲の日照時間、降水量の経過（右上図）を見ると、中旬は日照時間が多い日が続き、雨もほとんど降りませんでしたが、22日から24日の3日間は続けて雨が降り、22日と23日の2日間は日降水量がともに100mmを超える大雨となっています。これは、日本の南海上にあった梅雨前線が本州の南岸まで北上して一時的に停滞したためです。（右下図）

天候に左右されやすい活動や行事を予定されている場合には、大雨が降ることもありますので、五月晴れという印象にとらわれなくて、常に最新の週間天気予報などを利用していただくことをお勧めします。

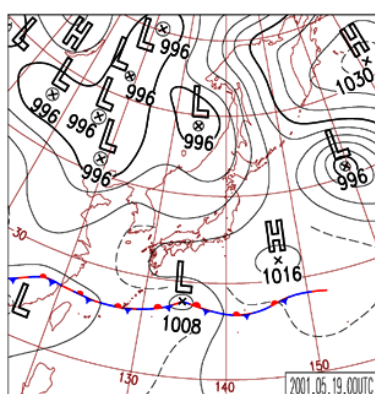
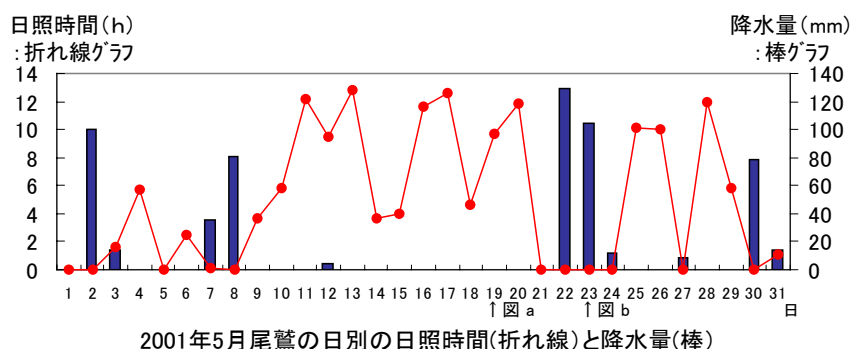


図 a 2001 年 5 月 19 日の地上天気図
日本付近が高気圧に覆われている

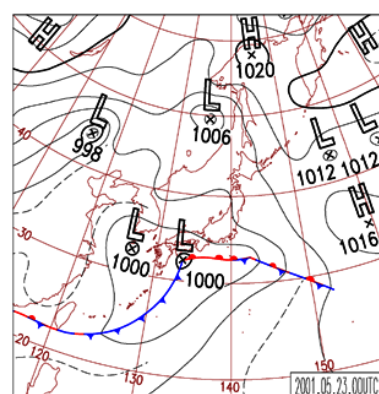


図 b 2001 年 5 月 23 日の地上天気図
梅雨前線が本州南岸まで北上している